

# 令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 石川県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	高松病院	3
金沢市	市立病院	4
七尾市	公立能登総合病院	5
小松市	小松市民病院	6
輪島市	市立輪島病院	7
珠洲市	珠洲市総合病院	8
加賀市	加賀市医療センター	9
能美市	国民健康保険能美市立病院	10
津幡町	国保河北中央病院	11
志賀町	富来病院	12
宝達志水町	町立宝達志水病院	13
穴水町	公立穴水総合病院	14
能登町	公立宇出津総合病院	15
羽咋郡市広域圏事務組合 (事業会計分)	公立羽咋病院	16
白山石川医療企業団	公立松任石川中央病院	17
白山石川医療企業団	公立つるぎ病院	18

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				石川県	
市町村・組合名					
病院名 中央病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	67,469 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救臨が感へ災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	628	59.6	73.8	75.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	630	59.4	73.6	75.0
平均在院日数(一般病床のみ)		10.3	10.3	10.6

設立団体の状況		
人口(人)	1,132,526	
決算規模(千円)	609,964,261	
標準財政規模(千円)	307,539,184	
財政力指数	0.51759	
経常収支比率(%)	94.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.7
	将来負担比率(%)	213.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	25,732,260			
1 経常収益	22,313,435			
(1) 医業収益	20,116,097			
入院収益	12,469,762			
外来収益	6,964,998			
診療収入計	19,434,760			
その他医業収益	681,337			
(うち他会計負担金)	355,380			
(2) 医業外収益	2,197,338			
(うち国・都道府県補助金)	99,295			
(うち他会計補助・負担金)	399,636			
(うち長期前受金戻入)	1,517,133			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,418,825			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	23,548,064			
2 経常費用	23,537,814			
(1) 医業費用	22,230,703			
職員給与費	9,659,436	48.0	62.1	55.8
材料費	7,374,176	36.7	25.3	29.8
(うち薬品費)	5,124,849	25.5	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,132,049	10.6	11.4	13.0
減価償却費	2,698,021	13.4	9.5	8.7
経費	2,437,992	12.1	22.7	19.7
(うち委託料)	1,204,767	6.0	12.6	12.6
研究研修費	39,229			
資産減耗費	21,849			
(2) 医業外費用	1,307,111			
(うち支払利息)	16,735	0.1	1.3	1.2
(3) 特別損失	10,250			
損益				
経常損益	-1,224,379			
純損益	2,184,196			
累積欠損金	-			
経常収支比率	94.8		101.9	102.5
医業収支比率	90.5		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	3.4		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	3.8		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	2.9		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	91.6		89.3	93.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	67,074,544
1 固定資産	46,636,186
(1) 有形固定資産	43,676,932
(2) 無形固定資産	1,720
(3) 投資その他の資産	2,957,534
2 流動資産	20,438,358
(1) 現金及び預金	14,219,875
(2) 未収金及び未収収益	6,397,088
(3) 貸倒引当金( )	337,006
(4) 貯蔵品	148,637
3 繰延資産	-
負債合計	53,517,006
1 固定負債	43,403,825
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	37,354,291
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,049,534
(7) リース債務	-
2 流動負債	8,033,730
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,610,719
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,490,000
(5) 引当金	790,628
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,048,217
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,079,451
(1) 長期前受金	12,544,363
(2) 長期前受金収益化累計額( )	10,464,912
資本合計	13,557,538
1 資本金	11,482,953
2 剰余金	2,074,585
(1) 資本金剰余金	2,000
(2) 利益剰余金	2,072,585
負債・資本合計	67,074,544
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.9
修正医業収益(千円)	19,760,717

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	731,259	755,016
資本勘定繰入	1,744,238	1,721,567
計	2,475,497	2,476,583

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				石川県
市町村・組合名				
病院名	高松病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能		
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	24,192 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	4	指定病院の状況	臨	
許可公営企業		看護配置	15:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	精神病院	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	400	86.7	86.0	84.4
感染症	-	-	-	-
計	400	86.7	86.0	84.4
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,132,526	
決算規模(千円)	609,964,261	
標準財政規模(千円)	307,539,184	
財政力指数	0.51759	
経常収支比率(%)	94.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.7
	将来負担比率(%)	213.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	72.1
修正医業収益(千円)	2,363,288

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,462,052			
1 経常収益	3,462,052			
(1) 医業収益	2,363,717			
入院収益	2,121,828			
外来収益	217,578			
診療収入計	2,339,406			
その他医業収益	24,311			
(うち他会計負担金)	429			
(2) 医業外収益	1,098,335			
(うち国・都道府県補助金)	20,467			
(うち他会計補助・負担金)	882,132			
(うち長期前受金戻入)	111,654			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,422,770			
2 経常費用	3,393,398			
(1) 医業費用	3,278,487			
職員給与費	2,326,231	98.4	62.1	104.8
材料費	299,611	12.7	25.3	8.7
(うち薬品費)	150,351	6.4	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	46,411	2.0	11.4	1.3
減価償却費	199,544	8.4	9.5	13.5
経費	446,300	18.9	22.7	33.3
(うち委託料)	203,507	8.6	12.6	18.6
研究研修費	2,109			
資産減耗費	4,692			
(2) 医業外費用	114,911			
(うち支払利息)	28,741	1.2	1.3	2.7
(3) 特別損失	29,372			
損益				
経常損益	68,654			
純損益	39,282			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.0		101.9	101.4
医業収支比率	72.1		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	25.5		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	37.3		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	25.5		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	76.0		89.3	66.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	67,074,544
1 固定資産	46,636,186
(1) 有形固定資産	43,676,932
(2) 無形固定資産	1,720
(3) 投資その他の資産	2,957,534
2 流動資産	20,438,358
(1) 現金及び預金	14,219,875
(2) 未収金及び未収収益	6,397,088
(3) 貸倒引当金( )	337,006
(4) 貯蔵品	148,637
3 繰延資産	-
負債合計	53,517,006
1 固定負債	43,403,825
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	37,354,291
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,049,534
(7) リース債務	-
2 流動負債	8,033,730
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,610,719
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,490,000
(5) 引当金	790,628
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,048,217
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,079,451
(1) 長期前受金	12,544,363
(2) 長期前受金収益化累計額( )	10,464,912
資本合計	13,557,538
1 資本金	11,482,953
2 剰余金	2,074,585
(1) 資本金剰余金	2,000
(2) 利益剰余金	2,072,585
負債・資本合計	67,074,544
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	880,632	882,561
資本勘定繰入	156,855	144,755
計	1,037,487	1,027,316

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				石川県	
市町村・組合名	金沢市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	22,233 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	21	指定病院の状況	救臨 感 災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	275	68.5	78.2	77.2
療養	-	-	-	-
結核	25	-	31.2	35.5
精神	-	-	-	-
感染症	6	83.2	2.3	-
計	306	63.1	72.9	72.4
平均在院日数(一般病床のみ)		14.6	15.6	15.3

設立団体の状況		
人口(人)	463,254	
決算規模(千円)	227,328,830	
標準財政規模(千円)	102,193,631	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	90.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.8
	将来負担比率(%)	51.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.9
修正医業収益(千円)	4,160,174

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,624,334			
1 経常収益	6,624,334			
(1) 医業収益	4,367,464			
入院収益	2,990,764			
外来収益	1,040,081			
診療収入計	4,030,845			
その他医業収益	336,619			
(うち他会計負担金)	207,290			
(2) 医業外収益	2,256,870			
(うち国・都道府県補助金)	1,747,665			
(うち他会計補助・負担金)	291,973			
(うち長期前受金戻入)	177,924			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,481,856			
2 経常費用	5,481,856			
(1) 医業費用	5,271,884			
職員給与費	3,175,591	72.7	62.1	63.5
材料費	719,049	16.5	25.3	24.9
(うち薬品費)	293,465	6.7	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	418,704	9.6	11.4	11.8
減価償却費	377,913	8.7	9.5	10.0
経費	980,668	22.5	22.7	21.7
(うち委託料)	546,170	12.5	12.6	12.2
研究研修費	16,330			
資産減耗費	2,333			
(2) 医業外費用	209,972			
(うち支払利息)	12,584	0.3	1.3	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	1,142,478			
純損益	1,142,478			
累積欠損金	1,983,968			
経常収支比率	120.8		101.9	101.7
医業収支比率	82.8		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	7.5		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	11.4		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	7.5		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	111.7		89.3	90.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,706,683
1 固定資産	5,361,879
(1) 有形固定資産	5,011,986
(2) 無形固定資産	203,540
(3) 投資その他の資産	146,353
2 流動資産	5,344,804
(1) 現金及び預金	4,269,894
(2) 未収金及び未収収益	1,097,056
(3) 貸倒引当金( )	40,771
(4) 貯蔵品	18,625
3 繰延資産	-
負債合計	5,131,531
1 固定負債	3,500,721
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,645,797
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,854,924
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,043,528
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	299,324
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	246,202
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	471,078
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	587,282
(1) 長期前受金	3,618,553
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,031,271
資本合計	5,575,152
1 資本金	6,994,965
2 剰余金	-1,419,813
(1) 資本金剰余金	564,155
(2) 利益剰余金	-1,983,968
負債・資本合計	10,706,683
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	494,192	499,263
資本勘定繰入	190,195	213,997
計	684,387	713,260

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				石川県	
市町村・組合名	七尾市				
病院名	公立能登総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透   未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	38,640 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨 感へ災		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	330	74.0	81.5	85.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	100	31.2	47.1	50.6
感染症	4	7.8	-	-
計	434	63.5	72.8	76.8
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	15.8	16.3

設立団体の状況		
人口(人)	50,300	
決算規模(千円)	38,772,348	
標準財政規模(千円)	18,250,491	
財政力指数	0.44	
経常収支比率(%)	93.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.0
	将来負担比率(%)	87.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.6
修正医業収益(千円)	7,446,895

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,640,522			
1 経常収益	10,637,497			
(1) 医業収益	7,559,616			
入院収益	4,843,121			
外来収益	2,318,145			
診療収入計	7,161,266			
その他医業収益	398,350			
(うち他会計負担金)	112,721			
(2) 医業外収益	3,077,881			
(うち国・都道府県補助金)	2,144,208			
(うち他会計補助・負担金)	561,451			
(うち長期前受金戻入)	243,339			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,025			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,559,559			
2 経常費用	8,528,911			
(1) 医業費用	8,126,660			
職員給与費	5,024,295	66.5	62.1	59.8
材料費	1,346,506	17.8	25.3	27.7
(うち薬品費)	625,895	8.3	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	649,290	8.6	11.4	12.4
減価償却費	428,962	5.7	9.5	8.2
経費	1,306,731	17.3	22.7	19.2
(うち委託料)	803,257	10.6	12.6	10.2
研究研修費	11,095			
資産減耗費	9,071			
(2) 医業外費用	402,251			
(うち支払利息)	134,233	1.8	1.3	1.2
(3) 特別損失	30,648			
損益				
経常損益	2,108,586			
純損益	2,080,963			
累積欠損金	-			
経常収支比率	124.7		101.9	103.7
医業収支比率	93.0		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	6.3		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	8.9		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	6.3		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	116.8		89.3	93.1

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,554,192
1 固定資産	9,219,438
(1) 有形固定資産	9,161,999
(2) 無形固定資産	3,583
(3) 投資その他の資産	53,856
2 流動資産	7,334,754
(1) 現金及び預金	4,644,860
(2) 未収金及び未収収益	2,669,084
(3) 貸倒引当金( )	6,936
(4) 貯蔵品	27,746
3 繰延資産	-
負債合計	10,572,011
1 固定負債	7,131,134
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,844,479
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,286,655
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,974,311
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	952,781
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	306,326
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	656,164
(9) 前受金及び前受収益	400
3 繰延収益	1,466,566
(1) 長期前受金	4,635,192
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,168,626
資本合計	5,982,181
1 資本金	2,281,011
2 剰余金	3,701,170
(1) 資本金剰余金	354,085
(2) 利益剰余金	3,347,085
負債・資本合計	16,554,192
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	694,163	674,172
資本勘定繰入	575,214	379,153
計	1,269,377	1,053,325

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				石川県	
市町村・組合名	小松市				
病院名	小松市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透   未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	31,219 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	300	68.9	81.1	84.3
療養	-	-	-	-
結核	10	33.3	26.4	22.2
精神	26	-	14.1	34.4
感染症	4	-	-	-
計	340	61.8	73.4	77.3
平均在院日数(一般病床のみ)		12.3	12.4	12.8

設立団体の状況		
人口(人)	106,216	
決算規模(千円)	58,972,388	
標準財政規模(千円)	26,581,089	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(%)	93.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.9
	将来負担比率(%)	137.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.7
修正医業収益(千円)	6,966,139

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,536,024			
1 経常収益	9,536,024			
(1) 医業収益	7,035,480			
入院収益	4,382,744			
外来収益	2,423,730			
診療収入計	6,806,474			
その他医業収益	229,006			
(うち他会計負担金)	69,341			
(2) 医業外収益	2,500,544			
(うち国・都道府県補助金)	1,816,732			
(うち他会計補助・負担金)	307,563			
(うち長期前受金戻入)	290,823			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,070,204			
2 経常費用	9,070,204			
(1) 医業費用	8,628,561			
職員給与費	4,316,785	61.4	62.1	63.5
材料費	1,992,809	28.3	25.3	24.9
(うち薬品費)	1,116,327	15.9	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	827,850	11.8	11.4	11.8
減価償却費	555,372	7.9	9.5	10.0
経費	1,707,407	24.3	22.7	21.7
(うち委託料)	655,686	9.3	12.6	12.2
研究研修費	15,176			
資産減耗費	41,012			
(2) 医業外費用	441,643			
(うち支払利息)	31,661	0.5	1.3	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	465,820			
純損益	465,820			
累積欠損金	1,895,447			
経常収支比率	105.1		101.9	101.7
医業収支比率	81.5		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	4.0		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	5.4		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	4.0		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	101.0		89.3	90.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,244,248
1 固定資産	8,601,149
(1) 有形固定資産	8,416,240
(2) 無形固定資産	183,088
(3) 投資その他の資産	1,821
2 流動資産	4,643,099
(1) 現金及び預金	2,200,059
(2) 未収金及び未収収益	2,441,174
(3) 貸倒引当金( )	5,535
(4) 貯蔵品	2,062
3 繰延資産	-
負債合計	8,102,630
1 固定負債	4,232,174
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,828,508
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,403,666
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,622,057
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	646,463
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	257,508
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	691,650
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,248,399
(1) 長期前受金	5,722,142
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,473,743
資本合計	5,141,618
1 資本金	7,037,065
2 剰余金	-1,895,447
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,895,447
負債・資本合計	13,244,248
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	428,243	376,904
資本勘定繰入	270,976	274,483
計	699,219	651,387

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	26.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				石川県	
市町村・組合名	輪島市				
病院名	市立輪島病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	12,656 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	13	指定病院の状況	救臨感へ災		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	147	68.1	88.7	91.8
療養	48	53.9	54.2	67.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	9.7	0.1	-
計	199	63.5	78.6	84.0
平均在院日数(一般病床のみ)		18.2	20.8	21.2

設立団体の状況		
人口(人)	24,608	
決算規模(千円)	26,383,508	
標準財政規模(千円)	11,790,829	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.8
	将来負担比率(%)	84.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.8
修正医業収益(千円)	2,707,060

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,154,420			
1 経常収益	4,150,453			
(1) 医業収益	2,758,930			
入院収益	1,444,441			
外来収益	1,099,137			
診療収入計	2,543,578			
その他医業収益	215,352			
(うち他会計負担金)	51,870			
(2) 医業外収益	1,391,523			
(うち国・都道府県補助金)	975,770			
(うち他会計補助・負担金)	237,982			
(うち長期前受金戻入)	153,868			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,967			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,360,141			
2 経常費用	3,358,496			
(1) 医業費用	3,154,204			
職員給与費	1,799,910	65.2	62.1	67.4
材料費	458,413	16.6	25.3	17.7
(うち薬品費)	207,459	7.5	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	222,521	8.1	11.4	8.8
減価償却費	207,647	7.5	9.5	10.7
経費	676,556	24.5	22.7	29.2
(うち委託料)	309,532	11.2	12.6	13.9
研究研修費	4,303			
資産減耗費	7,375			
(2) 医業外費用	204,292			
(うち支払利息)	79,109	2.9	1.3	1.5
(3) 特別損失	1,645			
損益				
経常損益	791,957			
純損益	794,279			
累積欠損金	982,793			
経常収支比率	123.6		101.9	100.3
医業収支比率	87.5		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	7.0		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.5		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	7.0		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	115.0		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,496,561
1 固定資産	4,487,919
(1) 有形固定資産	4,424,732
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	63,187
2 流動資産	2,008,642
(1) 現金及び預金	1,328,816
(2) 未収金及び未収収益	674,880
(3) 貸倒引当金( )	2,881
(4) 貯蔵品	7,827
3 繰延資産	-
負債合計	5,093,638
1 固定負債	3,058,544
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,192,961
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	836,895
(7) リース債務	28,688
2 流動負債	947,196
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	518,678
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	110,540
(6) リース債務	10,758
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	291,192
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,087,898
(1) 長期前受金	3,764,888
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,676,990
資本合計	1,402,923
1 資本金	1,778,319
2 剰余金	-375,396
(1) 資本金剰余金	607,397
(2) 利益剰余金	-982,793
負債・資本合計	6,496,561
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	514,468	289,852
資本勘定繰入	321,749	328,466
計	836,217	618,318

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				石川県	
市町村・組合名	珠洲市				
病院名	珠洲市総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	12,865 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	13	指定病院の状況	救臨 へ 災		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	156	69.9	77.1	69.8
療養	-	-	-	-
結核	7	-	5.7	2.9
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	163	66.9	74.0	67.0
平均在院日数(一般病床のみ)		19.6	19.2	15.9

設立団体の状況		
人口(人)	12,929	
決算規模(千円)	12,961,750	
標準財政規模(千円)	6,859,240	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	95.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.7
	将来負担比率(%)	47.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,208,612			
1 経常収益	4,203,678			
(1) 医業収益	3,519,260			
入院収益	1,486,061			
外来収益	1,904,400			
診療収入計	3,390,461			
その他医業収益	128,799			
(うち他会計負担金)	44,172			
(2) 医業外収益	684,418			
(うち国・都道府県補助金)	231,711			
(うち他会計補助・負担金)	198,826			
(うち長期前受金戻入)	188,615			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,934			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,968,714			
2 経常費用	3,967,706			
(1) 医業費用	3,727,395			
職員給与費	1,702,300	48.4	62.1	67.4
材料費	1,329,471	37.8	25.3	17.7
(うち薬品費)	1,046,984	29.8	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	250,539	7.1	11.4	8.8
減価償却費	220,087	6.3	9.5	10.7
経費	467,919	13.3	22.7	29.2
(うち委託料)	239,212	6.8	12.6	13.9
研究研修費	4,678			
資産減耗費	2,940			
(2) 医業外費用	240,311			
(うち支払利息)	68,707	2.0	1.3	1.5
(3) 特別損失	1,008			
損益				
経常損益	235,972			
純損益	239,898			
累積欠損金	715,269			
経常収支比率	105.9		101.9	100.3
医業収支比率	94.4		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	5.8		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	6.9		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	5.8		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	99.8		89.3	84.8

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,509,505
1 固定資産	4,290,464
(1) 有形固定資産	4,157,207
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	133,257
2 流動資産	2,219,041
(1) 現金及び預金	1,568,864
(2) 未収金及び未収収益	622,542
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	9,235
3 繰延資産	-
負債合計	5,481,493
1 固定負債	3,105,054
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,312,562
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	792,492
(7) リース債務	-
2 流動負債	975,632
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	535,181
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	140,290
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	300,161
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,400,807
(1) 長期前受金	2,053,727
(2) 長期前受金収益化累計額( )	652,920
資本合計	1,028,012
1 資本金	1,603,221
2 剰余金	-575,209
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-575,209
負債・資本合計	6,509,505
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.2
修正医業収益(千円)	3,475,088

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	242,998	242,998
資本勘定繰入	294,414	294,414
計	537,412	537,412

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	20.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				石川県	
市町村・組合名	加賀市				
病院名	加賀市医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,629 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	300	79.5	89.3	90.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	79.5	89.3	90.7
平均在院日数(一般病床のみ)		16.6	16.7	16.3

設立団体の状況		
人口(人)	63,220	
決算規模(千円)	42,072,046	
標準財政規模(千円)	18,098,961	
財政力指数	0.58	
経常収支比率(%)	94.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.7
	将来負担比率(%)	92.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,480,495			
1 経常収益	7,480,495			
(1) 医業収益	5,988,256			
入院収益	4,052,782			
外来収益	1,732,433			
診療収入計	5,785,215			
その他医業収益	203,041			
(うち他会計負担金)	75,325			
(2) 医業外収益	1,492,239			
(うち国・都道府県補助金)	324,213			
(うち他会計補助・負担金)	595,348			
(うち長期前受金戻入)	493,906			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,974,954			
2 経常費用	7,974,954			
(1) 医業費用	7,520,417			
職員給与費	4,442,384	74.2	62.1	63.5
材料費	1,203,687	20.1	25.3	24.9
(うち薬品費)	587,511	9.8	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	616,176	10.3	11.4	11.8
減価償却費	784,173	13.1	9.5	10.0
経費	1,062,853	17.7	22.7	21.7
(うち委託料)	650,094	10.9	12.6	12.2
研究研修費	15,208			
資産減耗費	12,112			
(2) 医業外費用	454,537			
(うち支払利息)	72,480	1.2	1.3	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-494,459			
純損益	-494,459			
累積欠損金	1,344,587			
経常収支比率	93.8		101.9	101.7
医業収支比率	79.6		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	9.0		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	11.2		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	9.0		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	85.4		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,731,150
1 固定資産	12,368,128
(1) 有形固定資産	11,914,625
(2) 無形固定資産	16,197
(3) 投資その他の資産	437,306
2 流動資産	1,363,022
(1) 現金及び預金	256,355
(2) 未収金及び未収収益	1,087,276
(3) 貸倒引当金( )	2,000
(4) 貯蔵品	12,891
3 繰延資産	-
負債合計	13,529,515
1 固定負債	8,402,393
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,158,221
(2) その他の企業債	424,800
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,819,372
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,775,174
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	964,200
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	261,175
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	544,143
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,351,948
(1) 長期前受金	6,501,515
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,149,567
資本合計	201,635
1 資本金	1,531,044
2 剰余金	-1,329,409
(1) 資本金剰余金	15,178
(2) 利益剰余金	-1,344,587
負債・資本合計	13,731,150
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.6
修正医業収益(千円)	5,912,931

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	641,769	670,673
資本勘定繰入	541,657	541,657
計	1,183,426	1,212,330

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	22.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				石川県	
市町村・組合名	能美市				
病院名	国民健康保険能美市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	11,416 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	66.1	62.4	62.3
療養	40	73.3	80.7	65.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	69.0	66.8	63.2
平均在院日数(一般病床のみ)		22.0	21.7	19.4

設立団体の状況		
人口(人)	48,523	
決算規模(千円)	28,809,066	
標準財政規模(千円)	14,216,019	
財政力指数	0.68	
経常収支比率(%)	90.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.6
	将来負担比率(%)	0.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,339,808			
1 経常収益	2,336,208			
(1) 医業収益	1,274,752			
入院収益	677,018			
外来収益	442,821			
診療収入計	1,119,839			
その他医業収益	154,913			
(うち他会計負担金)	63,288			
(2) 医業外収益	1,061,456			
(うち国・都道府県補助金)	163,652			
(うち他会計補助・負担金)	422,754			
(うち長期前受金戻入)	62,245			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,600			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,341,084			
2 経常費用	2,337,484			
(1) 医業費用	1,850,591			
職員給与費	1,110,464	87.1	62.1	67.4
材料費	211,311	16.6	25.3	17.7
(うち薬品費)	97,703	7.7	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	96,758	7.6	11.4	8.8
減価償却費	157,499	12.4	9.5	10.7
経費	369,795	29.0	22.7	29.2
(うち委託料)	233,845	18.3	12.6	13.9
研究研修費	1,096			
資産減耗費	426			
(2) 医業外費用	486,893			
(うち支払利息)	10,690	0.8	1.3	1.5
(3) 特別損失	3,600			
損益				
経常損益	-1,276			
純損益	-1,276			
累積欠損金	570,477			
経常収支比率	99.9		101.9	100.3
医業収支比率	68.9		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	20.8		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	38.1		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	20.8		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	79.2		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,344,293
1 固定資産	2,887,733
(1) 有形固定資産	2,796,435
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	91,298
2 流動資産	456,560
(1) 現金及び預金	198,169
(2) 未収金及び未収収益	252,696
(3) 貸倒引当金( )	4,521
(4) 貯蔵品	10,216
3 繰延資産	-
負債合計	2,054,840
1 固定負債	570,162
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	555,562
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	14,600
(7) リース債務	-
2 流動負債	338,473
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	162,826
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	93,753
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	74,946
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,146,205
(1) 長期前受金	2,204,525
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,058,320
資本合計	1,289,453
1 資本金	1,798,369
2 剰余金	-508,916
(1) 資本金剰余金	47,107
(2) 利益剰余金	-556,023
負債・資本合計	3,344,293
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	65.5
修正医業収益(千円)	1,211,464

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	236,042	486,042
資本勘定繰入	76,915	76,915
計	312,957	562,957

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	44.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				石川県	
市町村・組合名	津幡町				
病院名	国保河北中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,978 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	80.7	83.1	84.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	80.7	83.1	84.1
平均在院日数(一般病床のみ)		18.7	18.1	13.4

設立団体の状況		
人口(人)	36,957	
決算規模(千円)	21,297,732	
標準財政規模(千円)	8,731,534	
財政力指数	0.56	
経常収支比率(%)	89.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	75.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.0
修正医業収益(千円)	1,039,935

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,607,582			
1 経常収益	1,607,582			
(1) 医業収益	1,089,805			
入院収益	640,597			
外来収益	320,973			
診療収入計	961,570			
その他医業収益	128,235			
(うち他会計負担金)	49,870			
(2) 医業外収益	517,777			
(うち国・都道府県補助金)	359,963			
(うち他会計補助・負担金)	94,570			
(うち長期前受金戻入)	59,084			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,211,469			
2 経常費用	1,211,469			
(1) 医業費用	1,168,725			
職員給与費	614,210	56.4	62.1	78.9
材料費	126,920	11.6	25.3	15.6
(うち薬品費)	76,987	7.1	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	49,719	4.6	11.4	6.0
減価償却費	81,324	7.5	9.5	11.7
経費	342,556	31.4	22.7	31.2
(うち委託料)	171,179	15.7	12.6	14.3
研究研修費	1,562			
資産減耗費	2,153			
(2) 医業外費用	42,744			
(うち支払利息)	1,648	0.2	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	396,113			
純損益	396,113			
累積欠損金	-			
経常収支比率	132.7		101.9	100.3
医業収支比率	93.2		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.0		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	13.3		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	9.0		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	120.8		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,296,900
1 固定資産	799,025
(1) 有形固定資産	745,284
(2) 無形固定資産	46,494
(3) 投資その他の資産	7,247
2 流動資産	497,875
(1) 現金及び預金	223,672
(2) 未収金及び未収収益	272,676
(3) 貸倒引当金( )	1,814
(4) 貯蔵品	3,289
3 繰延資産	-
負債合計	843,363
1 固定負債	223,168
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	131,150
(2) その他の企業債	50,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	42,018
(7) リース債務	-
2 流動負債	292,100
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	101,709
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	46,870
(6) リース債務	1,046
(7) 一時借入金	50,000
(8) 未払金及び未払費用	88,720
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	328,095
(1) 長期前受金	1,266,645
(2) 長期前受金収益化累計額( )	938,550
資本合計	453,537
1 資本金	218,639
2 剰余金	234,898
(1) 資本金剰余金	288
(2) 利益剰余金	234,610
負債・資本合計	1,296,900
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	144,440	144,440
資本勘定繰入	65,307	65,307
計	209,747	209,747

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	71,140	6.7
平成30年度	72,051	6.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				石川県	
市町村・組合名	志賀町				
病院名	富来病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	7,345 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	79.8	81.4	66.2
療養	-	-	-	67.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	79.8	81.4	66.6
平均在院日数(一般病床のみ)		12.1	12.5	19.7

設立団体の状況		
人口(人)	18,630	
決算規模(千円)	15,222,972	
標準財政規模(千円)	8,732,337	
財政力指数	0.59	
経常収支比率(%)	95.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.3
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	97.2
修正医業収益(千円)	1,117,681

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,527,096			
1 経常収益	1,452,203			
(1) 医業収益	1,153,975			
入院収益	820,780			
外来収益	269,748			
診療収入計	1,090,528			
その他医業収益	63,447			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	298,228			
(うち国・都道府県補助金)	93,243			
(うち他会計補助・負担金)	147,511			
(うち長期前受金戻入)	44,109			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	74,893			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,212,247			
2 経常費用	1,212,247			
(1) 医業費用	1,149,870			
職員給与費	584,188	50.6	62.1	78.9
材料費	142,397	12.3	25.3	15.6
(うち薬品費)	56,177	4.9	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	67,744	5.9	11.4	6.0
減価償却費	67,660	5.9	9.5	11.7
経費	342,583	29.7	22.7	31.2
(うち委託料)	138,525	12.0	12.6	14.3
研究研修費	647			
資産減耗費	12,395			
(2) 医業外費用	62,377			
(うち支払利息)	24,064	2.1	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	239,956			
純損益	314,849			
累積欠損金	-			
経常収支比率	119.8		101.9	100.3
医業収支比率	100.4		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	12.7		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	15.9		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	12.0		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	104.6		89.3	76.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,889,408
1 固定資産	1,830,121
(1) 有形固定資産	1,762,824
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	67,297
2 流動資産	1,059,287
(1) 現金及び預金	806,553
(2) 未収金及び未収収益	260,232
(3) 貸倒引当金( )	9,584
(4) 貯蔵品	2,086
3 繰延資産	-
負債合計	1,734,194
1 固定負債	1,155,542
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,155,044
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	198
2 流動負債	272,061
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	178,543
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	41,143
(6) リース債務	96
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	51,086
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	306,591
(1) 長期前受金	1,479,144
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,172,553
資本合計	1,155,214
1 資本金	1,035,355
2 剰余金	119,859
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	119,859
負債・資本合計	2,889,408
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	183,805	183,805
資本勘定繰入	99,568	99,568
計	283,373	283,373

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				石川県	
市町村・組合名	宝達志水町				
病院名	町立宝達志水病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,097 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	43	75.5	85.6	87.9
療養	27	95.0	97.2	98.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	70	83.0	90.1	92.0
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	15.8	16.3

設立団体の状況		
人口(人)	12,121	
決算規模(千円)	9,556,700	
標準財政規模(千円)	5,395,141	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	87.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.2
	将来負担比率(%)	27.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,300,783			
1 経常収益	1,300,783			
(1) 医業収益	982,604			
入院収益	574,823			
外来収益	325,711			
診療収入計	900,534			
その他医業収益	82,070			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	318,179			
(うち国・都道府県補助金)	111,788			
(うち他会計補助・負担金)	116,005			
(うち長期前受金戻入)	82,436			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,288,926			
2 経常費用	1,288,926			
(1) 医業費用	1,254,072			
職員給与費	681,309	69.3	62.1	78.9
材料費	130,796	13.3	25.3	15.6
(うち薬品費)	69,984	7.1	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	60,812	6.2	11.4	6.0
減価償却費	179,971	18.3	9.5	11.7
経費	259,339	26.4	22.7	31.2
(うち委託料)	121,284	12.3	12.6	14.3
研究研修費	2,197			
資産減耗費	460			
(2) 医業外費用	34,854			
(うち支払利息)	2,918	0.3	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	11,857			
純損益	11,857			
累積欠損金	9,984			
経常収支比率	100.9		101.9	100.3
医業収支比率	78.4		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	11.8		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	15.7		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	11.8		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	89.0		89.3	76.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,442,002
1 固定資産	2,527,634
(1) 有形固定資産	2,347,942
(2) 無形固定資産	1,456
(3) 投資その他の資産	178,236
2 流動資産	914,368
(1) 現金及び預金	725,359
(2) 未収金及び未収収益	183,373
(3) 貸倒引当金( )	1,115
(4) 貯蔵品	6,751
3 繰延資産	-
負債合計	2,554,604
1 固定負債	1,717,835
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,618,501
(2) その他の企業債	99,334
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	198,554
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	95,806
(2) その他の企業債	13,948
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	40,609
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	41,389
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	638,215
(1) 長期前受金	1,049,855
(2) 長期前受金収益化累計額( )	411,640
資本合計	887,398
1 資本金	475,291
2 剰余金	412,107
(1) 資本金剰余金	422,091
(2) 利益剰余金	-9,984
負債・資本合計	3,442,002
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.3
修正医業収益(千円)	944,613

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	152,511	153,996
資本勘定繰入	46,002	54,702
計	198,513	208,698

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				石川県
市町村・組合名	穴水町			
病院名	公立穴水総合病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	13,090 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	11	指定病院の状況	救 へ	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	100床以上~200床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	100	70.8	87.4	89.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	70.8	87.4	89.0
平均在院日数(一般病床のみ)		18.0	18.1	18.1

設立団体の状況		
人口(人)	7,890	
決算規模(千円)	7,746,935	
標準財政規模(千円)	4,061,488	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	88.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	58.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.1
修正医業収益(千円)	1,774,208

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,619,460			
1 経常収益	2,618,010			
(1) 医業収益	1,824,078			
入院収益	927,229			
外来収益	788,722			
診療収入計	1,715,951			
その他医業収益	108,127			
(うち他会計負担金)	49,870			
(2) 医業外収益	793,932			
(うち国・都道府県補助金)	203,516			
(うち他会計補助・負担金)	225,715			
(うち長期前受金戻入)	77,028			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,450			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,363,576			
2 経常費用	2,362,126			
(1) 医業費用	2,083,790			
職員給与費	1,177,067	64.5	62.1	67.4
材料費	301,893	16.6	25.3	17.7
(うち薬品費)	170,604	9.4	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	131,289	7.2	11.4	8.8
減価償却費	142,799	7.8	9.5	10.7
経費	461,420	25.3	22.7	29.2
(うち委託料)	289,547	15.9	12.6	13.9
研究研修費	611			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	278,336			
(うち支払利息)	6,121	0.3	1.3	1.5
(3) 特別損失	1,450			
損益				
経常損益	255,884			
純損益	255,884			
累積欠損金	-			
経常収支比率	110.8		101.9	100.3
医業収支比率	87.5		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	10.5		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	15.1		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	10.5		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	99.2		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,426,880
1 固定資産	3,558,086
(1) 有形固定資産	2,872,908
(2) 無形固定資産	1,763
(3) 投資その他の資産	683,415
2 流動資産	1,868,794
(1) 現金及び預金	1,452,081
(2) 未収金及び未収収益	398,976
(3) 貸倒引当金( )	7,847
(4) 貯蔵品	25,584
3 繰延資産	-
負債合計	1,654,041
1 固定負債	764,084
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	749,779
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	14,305
2 流動負債	567,637
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	127,523
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	78,944
(6) リース債務	8,413
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	352,148
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	322,320
(1) 長期前受金	1,267,173
(2) 長期前受金収益化累計額( )	944,853
資本合計	3,772,839
1 資本金	1,983,393
2 剰余金	1,789,446
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	1,789,446
負債・資本合計	5,426,880
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	275,585	275,585
資本勘定繰入	56,415	56,415
計	332,000	332,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				石川県	
市町村・組合名	能登町				
病院名	公立宇出津総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,703 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	100	70.9	83.6	73.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	70.9	83.6	73.1
平均在院日数(一般病床のみ)		18.8	18.0	16.6

設立団体の状況		
人口(人)	15,687	
決算規模(千円)	18,771,655	
標準財政規模(千円)	8,906,573	
財政力指数	0.21	
経常収支比率(%)	88.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.9
	将来負担比率(%)	77.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.3
修正医業収益(千円)	1,849,789

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,268,539			
1 経常収益	2,268,539			
(1) 医業収益	1,870,360			
入院収益	878,201			
外来収益	898,791			
診療収入計	1,776,992			
その他医業収益	93,368			
(うち他会計負担金)	20,571			
(2) 医業外収益	398,179			
(うち国・都道府県補助金)	106,452			
(うち他会計補助・負担金)	149,146			
(うち長期前受金戻入)	128,115			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,257,380			
2 経常費用	2,253,669			
(1) 医業費用	2,168,756			
職員給与費	1,033,110	55.2	62.1	67.4
材料費	419,958	22.5	25.3	17.7
(うち薬品費)	239,545	12.8	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	162,149	8.7	11.4	8.8
減価償却費	212,830	11.4	9.5	10.7
経費	498,185	26.6	22.7	29.2
(うち委託料)	202,914	10.8	12.6	13.9
研究研修費	3,016			
資産減耗費	1,657			
(2) 医業外費用	84,913			
(うち支払利息)	2,171	0.1	1.3	1.5
(3) 特別損失	3,711			
損益				
経常損益	14,870			
純損益	11,159			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.7		101.9	100.3
医業収支比率	86.2		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	7.5		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	9.1		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	7.5		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	93.1		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,403,337
1 固定資産	2,623,242
(1) 有形固定資産	2,563,376
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	59,866
2 流動資産	780,095
(1) 現金及び預金	403,734
(2) 未収金及び未収収益	364,106
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	12,255
3 繰延資産	-
負債合計	2,045,433
1 固定負債	998,328
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	529,837
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	442,777
(7) リース債務	25,714
2 流動負債	443,746
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	165,945
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	62,539
(6) リース債務	9,954
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	201,318
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	603,359
(1) 長期前受金	1,760,424
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,157,065
資本合計	1,357,904
1 資本金	465,590
2 剰余金	892,314
(1) 資本金剰余金	188,856
(2) 利益剰余金	703,458
負債・資本合計	3,403,337
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	169,367	169,717
資本勘定繰入	106,953	118,181
計	276,320	287,898

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				石川県	
市町村・組合名	羽咋都市広域圏事務組合(事業会計分)				
病院名	公立羽咋病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	14,948 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救臨 災 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	174	74.2	78.7	78.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	174	74.2	78.7	78.8
平均在院日数(一般病床のみ)		20.5	19.1	21.7

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.0
修正医業収益(千円)	3,172,734

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,631,927			
1 経常収益	4,620,041			
(1) 医業収益	3,233,928			
入院収益	2,037,232			
外来収益	1,085,679			
診療収入計	3,122,911			
その他医業収益	111,017			
(うち他会計負担金)	61,194			
(2) 医業外収益	1,386,113			
(うち国・都道府県補助金)	1,122,622			
(うち他会計補助・負担金)	130,137			
(うち長期前受金戻入)	109,479			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	11,886			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,649,362			
2 経常費用	3,647,850			
(1) 医業費用	3,486,244			
職員給与費	2,086,099	64.5	62.1	67.4
材料費	538,422	16.6	25.3	17.7
(うち薬品費)	253,187	7.8	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	248,265	7.7	11.4	8.8
減価償却費	236,052	7.3	9.5	10.7
経費	619,489	19.2	22.7	29.2
(うち委託料)	321,431	9.9	12.6	13.9
研究研修費	2,990			
資産減耗費	3,192			
(2) 医業外費用	161,606			
(うち支払利息)	17,576	0.5	1.3	1.5
(3) 特別損失	1,512			
損益				
経常損益	972,191			
純損益	982,565			
累積欠損金	-			
経常収支比率	126.7		101.9	100.3
医業収支比率	92.8		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	4.1		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	5.9		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	4.1		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	121.4		89.3	84.8

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,551,331
1 固定資産	5,498,230
(1) 有形固定資産	3,187,130
(2) 無形固定資産	6,597
(3) 投資その他の資産	2,304,503
2 流動資産	3,053,101
(1) 現金及び預金	2,101,309
(2) 未収金及び未収収益	935,059
(3) 貸倒引当金( )	906
(4) 貯蔵品	17,114
3 繰延資産	-
負債合計	4,260,392
1 固定負債	2,476,082
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,312,413
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,163,669
(7) リース債務	-
2 流動負債	749,273
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	157,102
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	192,625
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	382,997
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,035,037
(1) 長期前受金	2,840,582
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,805,545
資本合計	4,290,939
1 資本金	416,602
2 剰余金	3,874,337
(1) 資本金剰余金	1,684,286
(2) 利益剰余金	2,190,051
負債・資本合計	8,551,331
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	238,162	191,331
資本勘定繰入	97,909	95,875
計	336,071	287,206

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				石川県
市町村・組合名	白山石川医療企業団			
病院名	公立松任石川中央病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I 訓ガ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	41,504 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	31	指定病院の状況	救臨 災地	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	300床以上~400床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	275	87.3	92.5	93.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	30	72.5	74.6	77.3
感染症	-	-	-	-
計	305	85.8	90.7	91.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.7	12.7	13.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.7
修正医業収益(千円)	8,827,150

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,771,041			
1 経常収益	10,586,593			
(1) 医業収益	9,008,949			
入院収益	5,389,704			
外来収益	2,636,296			
診療収入計	8,026,000			
その他医業収益	982,949			
(うち他会計負担金)	181,799			
(2) 医業外収益	1,577,644			
(うち国・都道府県補助金)	695,801			
(うち他会計補助・負担金)	441,014			
(うち長期前受金戻入)	292,010			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	184,448			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,752,922			
2 経常費用	10,568,474			
(1) 医業費用	9,951,310			
職員給与費	4,393,227	48.8	62.1	63.5
材料費	1,853,993	20.6	25.3	24.9
(うち薬品費)	730,274	8.1	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,039,892	11.5	11.4	11.8
減価償却費	1,161,463	12.9	9.5	10.0
経費	2,515,279	27.9	22.7	21.7
(うち委託料)	1,803,590	20.0	12.6	12.2
研究研修費	12,860			
資産減耗費	14,488			
(2) 医業外費用	617,164			
(うち支払利息)	135,924	1.5	1.3	1.4
(3) 特別損失	184,448			
損益				
経常損益	18,119			
純損益	18,119			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.2		101.9	101.7
医業収支比率	90.5		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	5.9		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	6.9		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	5.8		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	94.3		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,236,004
1 固定資産	20,337,007
(1) 有形固定資産	17,728,266
(2) 無形固定資産	893
(3) 投資その他の資産	2,607,848
2 流動資産	3,898,997
(1) 現金及び預金	1,271,896
(2) 未収金及び未収収益	2,574,915
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	52,186
3 繰延資産	-
負債合計	18,304,922
1 固定負債	11,804,114
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,804,114
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,025,131
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,282,194
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	398,756
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,294,302
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,475,677
(1) 長期前受金	8,542,007
(2) 長期前受金収益化累計額( )	5,066,330
資本合計	5,931,082
1 資本金	691,610
2 剰余金	5,239,472
(1) 資本金剰余金	4,026,496
(2) 利益剰余金	1,212,976
負債・資本合計	24,236,004
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	724,890	622,813
資本勘定繰入	245,935	245,935
計	970,825	868,748

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				石川県	
市町村・組合名	白山石川医療企業団				
病院名	公立つるぎ病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	11,634 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨 へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	152	88.3	90.4	91.9
療養	-	93.0	93.9	95.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	152	89.3	91.6	93.1
平均在院日数(一般病床のみ)		22.5	26.8	26.8

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.4
修正医業収益(千円)	2,660,959

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,200,249			
1 経常収益	3,124,076			
(1) 医業収益	2,805,819			
入院収益	1,716,742			
外来収益	687,117			
診療収入計	2,403,859			
その他医業収益	401,960			
(うち他会計負担金)	144,860			
(2) 医業外収益	318,257			
(うち国・都道府県補助金)	103,692			
(うち他会計補助・負担金)	110,298			
(うち長期前受金戻入)	69,349			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	76,173			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,285,364			
2 経常費用	3,209,191			
(1) 医業費用	3,045,789			
職員給与費	1,584,409	56.5	62.1	67.4
材料費	357,679	12.7	25.3	17.7
(うち薬品費)	145,969	5.2	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	173,458	6.2	11.4	8.8
減価償却費	238,101	8.5	9.5	10.7
経費	846,770	30.2	22.7	29.2
(うち委託料)	549,715	19.6	12.6	13.9
研究研修費	4,799			
資産減耗費	14,031			
(2) 医業外費用	163,402			
(うち支払利息)	37,094	1.3	1.3	1.5
(3) 特別損失	76,173			
損益				
経常損益	-85,115			
純損益	-85,115			
累積欠損金	371,625			
経常収支比率	97.3		101.9	100.3
医業収支比率	92.1		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	8.2		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	9.1		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	8.0		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	89.4		89.3	84.8

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,236,004
1 固定資産	20,337,007
(1) 有形固定資産	17,728,266
(2) 無形固定資産	893
(3) 投資その他の資産	2,607,848
2 流動資産	3,898,997
(1) 現金及び預金	1,271,896
(2) 未収金及び未収収益	2,574,915
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	52,186
3 繰延資産	-
負債合計	18,304,922
1 固定負債	11,804,114
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,804,114
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,025,131
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,282,194
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	398,756
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,294,302
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,475,677
(1) 長期前受金	8,542,007
(2) 長期前受金収益化累計額( )	5,066,330
資本合計	5,931,082
1 資本金	691,610
2 剰余金	5,239,472
(1) 資本金剰余金	4,026,496
(2) 利益剰余金	1,212,976
負債・資本合計	24,236,004
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	444,242	255,158
資本勘定繰入	102,729	102,729
計	546,971	357,887

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益から  
その他医業収益のうち他会計負担金を  
除いたもので、修正医業収支比率とは、  
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
「健全化法上の資金不足額」、  
「健全化法上の資金不足比率」、  
「地財法上の資金不足額」、  
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
支出される経費(経常的経費)に充当された  
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
の合計額に占める割合をいう。